

2015年度西地区部会研究会 第1回運営委員会議事要録

日 時：2014年10月24日（金）14：00～16：00

会 場：椋山女学園大学中央図書館 3階グループワーク B室

出 席：愛知学院大学（委員長校・部会長校）

事務長 足立 祐輔

係 長 藤岡 聖子

中部大学（東海地区理事校）

課 長 蓑島 智子

名古屋学院大学（東海地区研究会幹事校）

課 長 山田 義則

椋山女学園大学（2015年度当番校）

課長補佐 中田 晴美

図書館長 高坂 謙次

図書館職員 天野 由貴

欠 席：大谷大学（2014年度当番校）

福岡大学（2015年度部会長校）

議事に先立ち、委員長校 愛知学院大学(足立)より、配付資料の確認があった。特に「西地区部会研究会当番校業務要領」については、2005年当時から引き継がれてきた、当番校の負担が多い部分を部会長校が担う内容となるよう見直したこと、現部会長校でもある愛知学院大学がこの2年間、既に行ってきた内容であることを確認した。続いて出席者全員が自己紹介をした。議長は、委員長校 愛知学院大学図書館情報センター事務長 足立祐輔が担当した。

議 事：2015年度西地区部会研究会の運営について

1. 開催日時および会場について

開催日時および会場について、委員長校 愛知学院大学（足立）より、次のとおり説明があった。

日 時：2015年9月11日 金曜日 10:30～（受付開始 10:00）

会 場：椋山女学園大学 文化情報学部メディア棟 1階 001室

2. メインテーマについて

メインテーマおよび趣旨について、2015年度当番校 椋山女学園大学（天野）より、基本的には今までの学修支援の流れを踏襲し、なおかつ、2015年度の総会・研究大会メインテーマ「学びの空間 ～キャンパスと図書館～」を踏まえ、学習環境としての大学図書館を念頭にした2案の提案と説明があった。

（案1）

テーマ：「学修支援でいかにアクティブラーニングを深化させるか」

趣 旨：学生の学修時間の拡大、主体的で能動的な学習であるアクティブラーニングの実施など、学習環境としての大学図書館において、どのような学修支援を行えば、学生のアクティブラーニングを深化できるのか。学習環境として必要な条件と、アクティブラーニングを引き出すための学修支援をどのように行うかを考える。

(案2)

テーマ：「学習環境としての図書館に必要な学修支援とは何か？」

趣 旨：今日の大学図書館は、学生が学習環境として利用する場となっている。学生が、学習環境としての図書館を活用するために、どのような学修支援やサービスを提供すればよいのか。学習環境として必要な条件と共に、これからの図書館に必要な学修支援を考える。

検討の結果、今まで何度かテーマとして取り上げられてきた学修支援について、より本質的に近い部分を考えたい、学修支援のいろいろな意味合いを考えたいということから、(案2)をテーマとすることが承認された。

3. 研究会の構成・時間配分について

研究会の構成・時間配分について、委員長校 愛知学院大学（足立）より、例年とおりの提案があった。

東海地区理事校 中部大学（養島）より、発表者が3名となった場合の時間配分について確認があった。委員長校 愛知学院大学（足立）より、発表時間は発表者数にもよるので当番校に一任すること、例年45分間で発表・質疑応答となっているが、本来45～50分発表後、10分は質疑応答があることが望ましい旨、説明があった。

4. 講演者の人選・演題について

講演者の人選・演題について、委員長校 愛知学院大学（足立）より、何れも未定であること、謝礼、会報掲載については、例年とおりでであることを説明。

(1) 講演者・演題 何れも未定。講師への講演依頼は当番校より行う。

(2) 講演謝礼は、研究会費から支出する。所得税は納税する。

(3) 私立大学図書館協会会報への掲載。講演依頼時には、予め依頼し了解を得る。著者原稿を提出してもらう。

5. 研究発表者の人選について

研究発表者の人選について、委員長校 愛知学院大学（足立）より、例年通り、各地区理事校に原則各地区1名の発表者を推薦してもらうこと、但し、今年度より全地区揃わなくても可としている旨、説明があった。

(1) 各地区協議会への依頼について

1) 人選の対象

ア. 5地区協議会理事校に、原則各地区1名の推薦を依頼。無推薦地区があっても可とする。中国・四国地区協議会からは人選が難しい旨、既に連絡があった。そのため、3～4地区の3～4名になることを想定する。

イ. 1件を複数の者（学内者、他大学関係者等との共同）で担当することは差し支えない。他地区、協会以外の者との共同も差し支えない。

2) 推薦依頼

部会長校から各地区協議会理事校に対して、正式に研究発表者の推薦依頼を行い、各

地区協議会理事校は各加盟館長に、研究発表者の推薦をお願いする。

3) 人選締切日：2014年12月19日

4) 研究発表件数

研究発表者の推薦を集約し、研究会当番校と相談の上、部会長校より研究会開催概要（案）を第3回西地区部会役員会で提案し研究発表件数を決定する。なお、研究発表推薦者が少ない場合は、研究会運営委員校で対策を検討する。

(2) 会報原稿執筆について

1) 研究発表の内容は、私立大学図書館協会会報に掲載する。

2) 原稿依頼は研究会終了後、部会長校から文書で行う。

3) 研究発表者には原稿料・資料代（2003年度より1万円）を渡すこととなった。

この経費は、部会長校が所管する部会活動費から支出する（研究会当日に支払い）。
所得税納税。

6. 参加費、業者展示ほか

参加費、業者展示について、委員長校 愛知学院大学（足立）より、説明。

(1) 参加費

1,000～3,000円を目安に今年度の執行状況ならびに参加費から支出される費目等について確認後、決定する。研究発表者からは参加費を徴収しない。

(2) 業者展示

当番校の会場次第。当番校に一任されている。研究会開催通知発送までに決める。

7. 今後のスケジュール・作業について

今後のスケジュール・作業について、委員長校 愛知学院大学（足立）より、次のとおり確認があった。

(1) 研究発表者の推薦依頼（部会長校）

部会長校から各地区協議会理事校に研究発表者の推薦依頼を行い、各地区協議会理事校は加盟館長に、研究発表者の推薦をお願いする。

研究発表者の推薦締切日：2014年12月19日（金）

(2) 研究会当番校が、講演ならびに推薦のあった研究発表をもとに開催概要（案）を作成し、運営委員校の確認を得る。必要により第2回運営委員会を開催する。

(3) 2014年度西地区部会第3回役員会【2015年3月6日（金）開催】において、当番校の出席はないため、部会長校より開催概要（案）の説明と提案を行う。

開催概要（案）承認後、4月以降に部会長校から講演者・研究発表者に委嘱状、所属長・所属図書館長に派遣依頼状を送付する。

(4) 2015年度西地区部会第1回役員会【総会前日：2015年6月11日（木）】当番校より、開催概要（案）を提案し、承認を得る。

(5) 2015年度西地区部会総会【2015年6月11日（木）】・・・九州産業大学にて当番校より、開催概要（案）を提案し、承認を得る。

※運営委員会の確認事項は、総会までは原案として取り扱う。

(6) 研究会開催通知発送：当番校

研究会開催通知は総会後に当番校より発送する。出欠席表（欠席校も提出）を付す。宛名シール（あるいは住所データ）は、部会長校より当番校に渡す。その時点の西地区部会加盟校（総会で承認予定の新規加盟校を含む）。

東海地区理事校 中部大学（岐阜）より、郵送からメール送信方式への変更について提案があった。各地区協議会理事校のメーリングリストにより、確実に送信されることから、2015年度研究会では、当番校：梶山女学園大学から、2015年度部会長校：福岡大学に開催通知を送信し、福岡大学から各地区協議会理事校へ、各地区協議会理事校はメーリングリストにより地区加盟館へ送信し、出欠など必要事項は、直接、当番校へメール返信とする旨、確認し、第3回役員会に提案することとなった。

（7）研究発表確認書、レジュメ（予稿）、発表用原稿：部会長校

従来の研究発表確認書が分かりにくいため、修正する。

研究発表確認書、研究発表者レジュメを集約し当番校へ送付する。

発表に必要な機器等は研究発表確認書に記入してもらう。

レジュメ（予稿）を私大関協西地区部会HPへ掲載する。

当番校は参加者配付用の研究会資料を作成する。

8. その他

台風などの気象状況、新型インフルエンザ、突発的な事項等の対応については、当番校部会長校に一任する。必要があると思われる場合はメール等で協議する。

以上